

Title: 「明日はどっちだ」



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



徳田 敬大
Keita Tokuda 1985年
生まれの食べか
り。世界という大海
へ向け、今、旅立と
うとしています。

● 最近のエントリー

- ☞ ニューヨーク 好き派 (2007.11.25)
- ☞ ルクソールと気球ツアー (2007.11.25)
- ☞ ルクソールへ (2007.11.24)
- ☞ 探検する土旅 シナイ山 (2007.11.24)

● アーカイブ

- ☞ 2010年10月
- ☞ 2010年09月
- ☞ 2010年08月
- ☞ 2010年07月
- ☞ 2010年06月
- ☞ 2010年05月
- ☞ 2010年04月
- ☞ 2010年03月
- ☞ 2010年02月
- ☞ 2010年01月
- ☞ 2009年12月
- ☞ 2009年11月
- ☞ 2009年10月
- ☞ 2009年09月
- ☞ 2009年08月
- ☞ 2009年07月
- ☞ 2009年06月
- ☞ 2009年05月
- ☞ 2009年04月
- ☞ 2009年02月
- ☞ 2009年01月
- ☞ 2008年12月
- ☞ 2008年11月
- ☞ 2008年10月
- ☞ 2008年09月
- ☞ 2008年08月
- ☞ 2008年07月
- ☞ 2008年03月
- ☞ 2007年11月
- ☞ 2007年10月
- ☞ 2007年08月
- ☞ 2007年06月
- ☞ 2007年05月
- ☞ 2006年10月
- ☞ 2006年09月
- ☞ 2006年08月
- ☞ 2006年07月
- ☞ 2006年06月
- ☞ 2006年05月
- ☞ 2006年04月
- ☞ 2006年03月

● ブックマーク



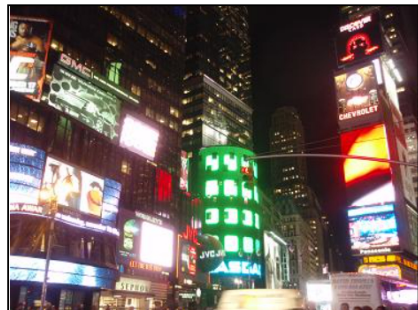
明日はどっちだ > 2007年11月 アーカイブ

07.11.25

ニューヨーク 好き派

おとといカイロからミラノ経由にて 20時間くらい。
のくせに、時差の関係で
あんまし時間が経ってないってー 良く分からん事態ですが

今はまた NY にいます。H&Hベールは今日、全種類食べました。



つまり、今は 寒いってこと。
どんだけ寒いかってーと
昨日の夜、ビルの標氏温度計を見ると -3°を表示しています。
曇もたいして上がりやせん。

つまり、顔が ひょ～ ってなるくらい寒いってこと。

こんだけ、寒かったり 暑かったり 過ごしやすかったり
いろんな気候の場所に行く
荷物が訳分からん事態になりますな。

ロックフェラーセンターのツリーはまだ点いていないみたいですが
サンクスギビングも過ぎて
今、NYはすっかりクリスマスモードに入っています。
キレイだし、素敵ですな。

んだけど、そんなNYも 今日また自由の女神へ行き終わりです。
明日の飛行機にて日本へ。

グッバイ！ ニューヨーク！



今回は1ヶ月の短いひとりでフィールドワークの旅でしたが
3ヶ月くらいに感じました。 やたら長い。
でも、一日一日が充実していた証拠だと思います。

ベネチアまではやたら 一人でしたが
なぜかそれ以後 人と会おうようになりました。

旅は出会い。 そのようです。

素敵な出会いをたくさんありがとう！

何だかんだ言って、また旅へ行きたいな！

カテゴリ:

post by 徳田 敬大 | 日時: 2007.11.25 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

明日はどっちだ > 2007年11月 アーカイブ

ルクソールと気球ツアー

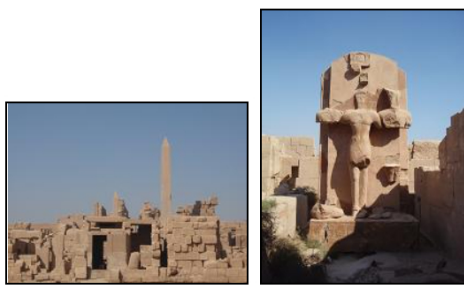
さて、ルクソール 2日目
ルクソールはナイル川を挟んで東側・西側に遺跡が分かれています

東側には ルクソール神殿 カルナック神殿
西側には 王家の谷やハトシェプスト女王葬祭殿やら



同じエベレストホテルに泊まっている
日本人の けんさん のお誘いで一緒にタクシーをチャーターして
遺跡を回ることに。
また、西側へ行きたかったのですが チャリは辛そうだったので
ありがたい お誘いです。

まずは 東側 カルナック神殿
ここはエジプトで一番大きい神殿らしいです。
やたら大きな柱がたくさん建っていて
当時は遺跡全体が極彩色で彩られていたらしいです。
しかし、今では その一部分が残るだけとなっています。



ガイドさんの話を盗み聞きしたところ
オベリスクは ここまでどうやって運んできて建てたのか なぞらしいです。
古代はナゾだらけです。 そんなトコロに浪漫がたっぷりですが。。



次に西側 ラメセス か ラメセウス のどちらか

ここは、規模は小さいながら 壁画がすごい綺麗でした。
基本的には撮影禁止ですので 写真を載せる事はできません。



んで移動して
こっちが ラメセス だっけな。 神殿跡です。
ほとんど壊れていますが何か、やっぱり威圧感があって
ちょっと長く歩いてしまいました。



んで、せっかくだから けん さんに撮ってもらい。



ここもですが、やはりエジプトは発掘やら調査やらをやっています



しかし、こういうトコに来ると毎回思うのが
この遺跡や建物が何のために いつ 造られたのか とか
歴史や背景が気になってしまいます。
それを知った上で見たほうが 見る角度や視野が広がって楽しいですな。

んで王家の谷へ
ツタンカーメンや他3つへ

他のと比べると明らかに規模が小さいです。
ツタンカーメンの中にはミイラが置いてあってやたら小さかったです。
けっこう長いこと中において 堪能しました。
その後カイロに 戻った時に考古学博物館で黄金のマスクやら
中に入っていたものを見ましたが、あの小さな部屋に
詰め込まれるように、すごい量の物が入っていたようです。
やりますな、ハワード・カーターさん。

ちなみにここは ツタンカーメン じゃないです。



そして、けん さんに夕食を やたらたくさん御馳走してもらいました。
ほんとにお腹が満腹になり、動けないかと思いました。
ありがとうございました！





翌日は けんさん はカイロへと列車で向かったので一人

歩いてカルナック神殿へ。

途中駅で カイロ行きの切符を買おうとしたのですが満席のようです。
なので、ちょうどいた宿のナセルさんに頼んで席をとってもらうことに。



そして、帰り道

エジプトのジュース コクテル ってのを飲んでみました。
あとオレンジジュース。



列車が夜の 11 時発とかなので 時間があまって
待ち疲れていると、ナセルさんが切符をとって来てくれました。 さすが！
そして、また待っていると暇そうにしていたからか、
気球ツアーの日本語案内を書いてほしい、とのこと。
自分は気球ツアーには行っていませんが、
切符の御礼もあって こういった事はすごく苦手ですが
1 回書き直して 一応出来上がり。



同じ宿の日本人カップルに聞いたところ

「うん、行きたくないかも。」って。
こんなお礼で、面売繁盛すれば うれしいかぎりです。

そして、カイロへ。

車内でまた「君の宗教は？」って聞かれました。
うへん。。。



カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.25 | [ホームリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[明日はどちらだ > 2007年11月 アーカイブ](#)

07.11.24

ルクソール へ

シナイ山から カイロに着いて、その足でルクソールへ。

切符買うときにやたら込んで
一緒に並んでる人達も渋い顔しながら 1時間くらい待った。



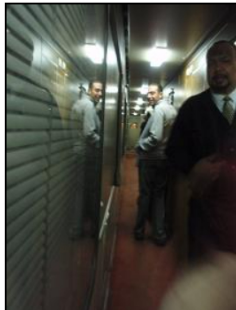
そんで、カイロ駅10発の電車でルクソールへ



車内は1等だもんで 普通な感じ。6人がけ1部屋。
隣の黒いひげのおっちゃんははビスケットがやたら好きらしくて 何回もくれた。
途中の駅で6人中 2人が降りたら、そのおっちゃんと
ぼっちゃりめの おっちゃんがここぞばかりに話し出して

「君の宗教は何だ？」

げっ！ この質問困るな。
宗教無してーと、あんまし良くないみたいだから
こんな場合どー答えたらええんかな。
仏教徒ですとかかな。



FB150204.JPG

話すけど 実際頭はクラクラで ほとんど寝てた。

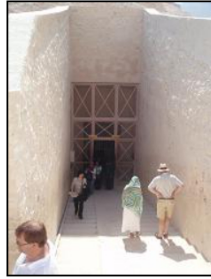
そして、ルクソール駅に到着。
エベレストホテルの人に声かけられて そのままチェックイン。
これから西側ツアーが出るから行かないか？
とのこと。
西側は広いから 行くことにした。
ツアーなんつぁー、板門店ぶりだわな。

シナイ山の寒さを忘れるくらいの日差しの強さ。
やっぱり、あったかいほうが過ごしやすいけど、
今でこの日差しの強さだから夏なんて
たぶんハンパないでしょう。

最初に王家の谷

谷は広いけど一つ一つの 間は思ったより狭かったです
三つのお墓を見ましたが、何見ただかかは覚えていません。
数千年前の壁画を前にすると
これが、ホントに数千年前の物 なの？
って疑問を感じるくらい まだまだ色が残っています。
でか、あんなに長いものの中に どうやって
絵を描いたのでしょうか？ ホントになぞいです。





続いて ハトシェプスト女王葬祭殿
また、思うけど よくもまあこんな所に こんなデカイのを
造ったものです。



ほんで直族の谷へ行き

これ見て お終い。



宿へ戻って 韓国人の エリ(男) イングリッシュネームを作ったらしいです。
と 日本人のけんさんと共に夕食を食べに行きます。
が、ふらふら迷ってると何やら祭のようなものやってて
結婚式らしいです。



んで、あんまし長居はできないから
夕食を食べて宿へ。。

燃ゆる十戒 シナイ山

カイロのトルゴマンバスターミナルから 朝11時発
セントカトリーナ行きで8時間くらい。
新しいバスターミナルで とてもキレイです。
しかし、エジプトだけあり 砂が多くて掃除が大変そうです。



バスはこんな感じ。



スエズを越えたあたりから いよいよ風景は砂漠となっていきます。
途中何回か休憩しながら進みます。
ちなみにスエズは 運河見れずにトンネルに入ってしまった。



日も暮れて、夕日に照らされた山々は赤く染まっています。
初めて見る景色は良いもんで
そんなん見ると 思えば遠くへ来たもんだ。
何て思っちゃいます。



夜になり 真っ暗な道を走り続け
セントカトリーナ、シナイ山の麓の小さな村に到着です。
やたら静かです。そして、寒い。
ここでは、確実にサンダル禁止令が出ています。
半袖・サンダルの自分は確実に失敗。

チェコ人の ホンゲ がベドウィンキャンプという宿へ行くらしいので一緒に付いて行き、夕飯を食べに行きます。
レストランにはたくさん人がいて
ベドウィンの青年やらが
「ハロー マイフレンド！」 なんて話しかけてきます。



んで、宿にいた 3人の女性も同じ日にガイドさんと共にシナイ山に登りに行くらしいので、全く道が分からない自分は付いていても良いですか？
なんて聞きつつ、同行する事に。。



深夜3時に出発。



村は小さいため、そこを抜けると辺りは 暗く、とてもとても静かです。
村の明かりもだんだんと山に隠れて見えなくなっていきます。
月も山に隠れて 星の明るさと
自分らの持っている懐中電灯の明るさしかありません。
音も、歩く音 息の音しか聞こえません。

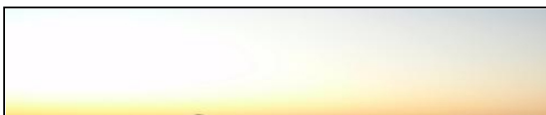
しかし、一旦足を止め 上を見上げると、
星々のざわめきと言いましょか。すごい星が空に広がっています。
山だけはその姿を捉える事ができます。
その奥には満天の星空。今世界には 星と山以外に見えるものはありません。
流れ星も スっ っと、空を切ります。
同行してる人は
「アメージング！」 「こんな空見た事無い。」 と、言っていました。

上に行くと、登山客くて 道が渋滞してました。
んで、休憩所とかもあったりして。



朝5:30くらい 夜の星が少しずつ数を減らし
空は地平線から色を出しはじめました。

いよいよ 朝が始まります。





朝6時くらいに日が出ました



赤い朝日に照らされた 山々はとても綺麗です。
ずっと遠くまで山しか見えません。
頭の中に世界遺産の音楽をかけたら
そりゃーもー たまらない。



そして、下山ラッシュが始まって
あっという間に頂上は また元の静けさを取り戻しました。
毎日だいたい500・600人の登山客がこの朝日を見に来るらしいです。



そんで同行ガイドの マホメッドのもと
帰り道だと思ってる、いつの間にかミニトレッキングへ
山道は赤きにくいから下を見がちだけど
ー

ここは、山並みのハイハイ新境に立つ 聖地獄と見られるつづみんこ。
いったい今自分がどこなんだか分からなくなる感じがするくらいの山道と風景。

でも、正直同行メンバーは朝から山登りしてバテてました。



途中山間にベドウィンの小さい集落なんかがあったりして。



明るくなって村を見ると こんな感じのトコにあったみたいで、
感じは違うけど ナガルコトみたいで好きな村だ。
シナイ山が世界遺産に登録されたから
村は少しかわっていかと思うけど、このままこの静かな村であってほしいな。



んで、ホントはもっといたいけど
今日は観光客用のセルビスっていう乗り合いバスが
カイロへ出るみたいだから乗る事に。



午後12時くらいに出発。
さすがにバテてるみたいで 車内ではみんな寝てた。





んで、カイロには7時過ぎくらいに到着。
そのままルクソールへ。

カテゴリ：
post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.24 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#)

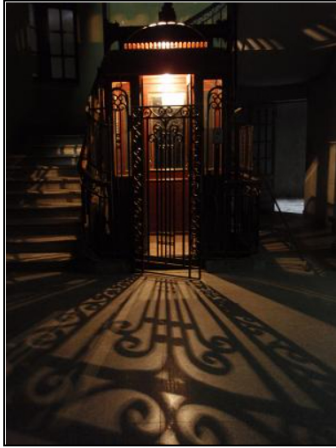
[明日はどちらだ](#) > 2007年11月 アーカイブ

07.11.14

ピラミッド

やっぱり、今日も ピラミッド
ホントはエジプト考古学博物館 行きたいんだけど。。
しゃーないな。

宿のエレベーターはやたら古いです。
ぶら下がってるのも細いチェーンのようなもの
んだけど、そんなところが逆に良いものです。



バスターミナルへ行きますが、
やっぱり、いまいち よく分かりません。
だもんで、人に聞いて 昨日と同じ マイクロバスにて出発です。

2日目とあって
降ろされる場所も 理解できました。
ずんなりと、ピラミッドエリアへ。



スフィンクスの顔のところが 陰になっていて
鳩がとまっています。
んが、この鳩 糞せてる？
イタリアの鳩は真ん丸くて大きいのに比べて 明らかに小さい細いです。



次に、ピラミッド・ビューポイント
ほとんどの人は観光バスなどで来ますが
自分はそのなん ありません。
だもんで、しょーがないから 砂を歩いて行きました。
足を見ると 何か黒っぽく。。。
自分でも日本人の足には見えなくなっていました。



帰り道は おとなしくアスファルトの道を戻って行き、
古代人たちは よくもまあ こんなにでかいものを作ったものだ と思い、



帰りは 大型バスで ギザ〜カイロ へ。 たいたい 1時間ちょい
数字は何か半りで覚えまして。
これで、357です。



それで、今日も結局 コシャリ屋さんへ
作ってる人の手さばきは 早いもので、
ばっ！ ばっ！ ちゃっ ちゃ、ちゃ。 くらいで 出来上がり
エジプトではよく相席になりますが
この感じでは相席が普通なようです。
今日も前に2人がいましたが 日本人がコシャリ食ってるんで
楽しそうでした。。



ツバメが、シリア国へ入国してしまっています。
以外に旅すると 山登りをしてしまうものです。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.14 | [バナーリンク](#) | [コメント\(4\)](#)

明日はどっちだ > 2007年11月アーカイブ

07.11.13

ふしぎ発見

今日は ギザのピラミッドへ 行ってきました。

バスターミナルへ向かう道すがら、

今のところ エジプトの印象は
ほんとうに インド にいるようです。
感覚も去年の アジアを回っていたときの 匂いや 空気
が思い出されます。

ブー！ ブー！ と クラクシヨンの音や。
車のぎりぎりまで 歩いていくこと。 信号のない渋滞とか。

しかし、これがまた移動が大変ですね。
アラビア語は読めないし、アラビア数字読めないし。
インドみたいに ごちゃごちゃ してるし。
もちろんそこで人に聞きますが
何か、エジプトの人たちは みんな 良くしてくれます。

そして ホンとは 大型バスで行こうとしていましたが
マイクロバスで 行くことになりました。
ここでもまた、現地の人たちしか見ませんでした。
なぜ？観光客たちは どうやって カイロからギザまで移動しているのでしょうか・・・



そして、ギザのピラミッドに到着です。
世界ふしぎ発見や 特番とかの テレビで幾度となく見た場所です。
初日は軽く様子見ですので ラクダにでも乗ってみました。
ハッサン氏と併に。砂漠へ。
彼曰く 「YOU は 私の息子に似ている。」 とのこと
彼も 帰りのバスの場所や 値段とか
やたら親切に わかりやすく教えてくれました。
エジプトの人々は皆 親切なイメージです。



そんで、カフラー王のピラミッドと クフ王のピラミッドの中へも
せっかく来たので入ってきました。
中は狭くて、体でかい人は つらい事でしょう。
んで、やたら じめじめしてます。

びっくりしたことに、クフ王のピラミッドに入った時
玄室の真ん中で 4人くらいが 立っています。
靴を脱いで 明らかに何かを感じているようです。

は！？ これは！ もしや！？

そうです。 彼らはピラミッドパワーを感じているのです。
本当にそんな人たちがいるみたいです。
ぼそぼそ 言ってると思ったら何やら呪文みたくのを唱えています。
うわ！
すげーな。 こりゃ。
んで、しまいにゃあ 石棺の中へも入っていきました。



思ったより、ピラミッドの間隔は短かったですが
地面の雰囲気とかは 歩きにくいし、違いし
ラクダや馬のフンとかゴミがいたる所に落ちてるし
まるで 格根塔拉(ゴゲンダラ)の草原のようです。



そろそろ、日も暮れてきました。
今の時期はやはり 灼熱ではないようです。
夕方にもなるとわりと涼しくて 薄い長袖なんかがあるとちょうどいい感じです。



そして、ハッサン氏に教えられて通りのトコへ行き
すんなりバスに乗れて
疲れたためか うとうと しているうちに 着いていました。

そんで、今日はコシャリを しっかりと2杯 食っというて、宿へ。

最近、じゃなくて アジアの時から思っていましたか
やはり英語が喋れた方が 7倍はイイですね。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.13 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#)

[明日はどちらだ > 2007年11月 アーカイブ](#)

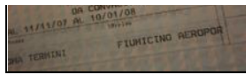
07.11.12

エジプトへ

今回 三カ国目 エジプトへ今日、着きました。
時差はイタリアと1時間。

それでは、今日の早朝 まだ空も暗く 街も動いていない。
テルミニ駅から 始発で FCO空港へ





やはり、国間の飛行機移動は 時間の余裕があったほうが ぜんぜん安心できます。
搭乗まで待っている時間は エジプトの歩き方を熟読し 予習です。

そして搭乗。



機内食に かなり充実感を 感じつつ
あれって、2回食べれんものなんかね？

気づいたときにゃあ～ 地面の色が変わっていて



わっ！ また、違う大陸へ、来てしまった！
さりげなく、今回も大陸目。

エジプトのビザは 15\$でシールを買い、自分でパスポートに張るみたいです。
こんなんは、はじめて。。

そして、市内へ行きたいのですが
タクシー?? ん～。 やっぱし バスだべ。

予習によると飛行場からはバスが出ていますが
アリタリアの到着した第二ターミナルからは バスがないようです
ですのて、
よく分からないですが、とりあえずシャトルバスで
car park とやらまで 行きます。



たぶん、そこから・・・
うん 第一ターミナルへ行けました。

なんとなく第一ターミナルからは
バスが出てるっぽいので 聞いて、
バスターミナルへ着いたは 良いけど
何でたって、アラビア語。 分からんぜ。

しかし、予習していた アラビア数字と 現地の人に聞いて
何とか乗車できました。
一瞬 諦めて、タクシーで行こうと考えましたが
こっちに於て正解でした。安い。。

しかし、どう見ても この雰囲気
現地の人が使わんで、外人は自分だけだし。
むしろ、バスターミナルへ向かう外人を誰も見なかったし





出発し、1時間くらいで 終着点の
タフリール広場？だったな。

そこで、困って 地図を見ていると
よく分からんで。

あん？ 何や？

現地の方が 声をかけてきました。
よくありますね。これから どこ行きますか？

ってなやつです。
「ここへ 行きたい。」 困ってっからそりゃ 聞きますわな。

したら、付いて来いとな？

しかし、
「そこは ちょっと遠いから、俺の知ってるホテルへ行こう。
ペリーチープ。ペリークリーン」

うわー この感じ 怪しい。。。。

とりあえず、カナディアンホステルへ
行ったけど どうやら今日はいっぱいのお宿です。

んたら、もう一個 の宿へ。
「ここは、新しくまだほとんどの人が 知らんから。」 と。

しかし、行ってみると
欧米あがりの 自分ほにちょっと あいません。

ん〜。。

歩き方に載ってる、そこから近い宿へ
また、連れて行ってくれました。



なんで、こんな いい人なん？

自分は 今日はずがへ行こうとしたけど
バスがないから 行けなくなった。
だから、今日はおじさんの家に泊まる と。

ん〜。。 良くある系や。
人を信じるのって難しいな。

エジプトの治安が やたらいいことや
これを食べたら良いだの。

やたら親切に 教えてくれました。

「なぜ？ そんなに親切でやさしくしてくれるんですか？」 と聞きますと
「日本人は困ってる人がいたら 助けないの？」

と、言われ どう答えたらいいか 一瞬分からなくなってしまいました。。

んで、無事にチェックイン。

腹が減ってるなら ここで ファラフェルとか食べればいい！
とか。
最後に握手して 良い旅を！ って！

ただの 本当にいい人でした。 助けてくれて
この アハブさんがいなければ かなり辛かったです。
ありがとうございました。
アラビア語で こんにちはは しか覚えてなかったから
ありがとうも 覚えときゃよかった。。

海外ではどんなに 良くされても かなり知り合いにならないと
疑ってしまいます。 難しいもんですな。

今では 自分がイタリアの空気に慣れていたとは
思えないくらい 違います。
感じ的には、インドっぽいです。
人とか、街並みとかも似ていますし。。
飯が安いのが 大助かりだぜ！

んで、夜飯に コシャリ っつー
エジプトのご飯をいっぱい食べて



今、ブログを アップしています。。。

明日は ピラミッド たい！！

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.12 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2007年11月 アーカイブ

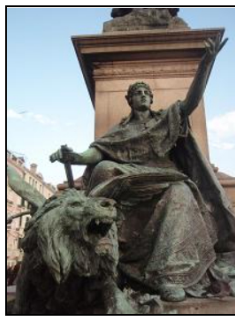
Ciao Venezia

この日も 朝から撮影。
しかし、何てたって寒い、寒い。
なんでこんなに 寒いんよ。
それでも、このリアルと橋からの
ボートやゴンドラ、貨物を乗せた船の行き交う景色は 毎日綺麗です。



やはり、エネルギー摂取は 怠ってはイカンものです。
ちょっと鼻が くずくず。

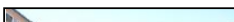
街中では やたら 仮面を見ます。
それとともに、ヴェネツィアの旗の 翼を持ったライオンも



ゴンドラの通り道に いますと
たまーに 歌が聞こえてきます。

あんまり 陽気な歌なんて聴かなくて
「Ciao Venezia! Ciao Venezia! Ciao Venezia! Ciao・Ciao・Ciao!」

さすがに ここまで陽気な歌なもので
ゴンドラに乗って お客さんも 周りにいた人たちも
笑ってました。
いつも、ゴンドラで歌ってくれていたら 楽しいと思いますが
やはり、そうはイカンものでしょう。
この歌が自分にとっての ヴェネツィアのイメージになってしまいそうです。



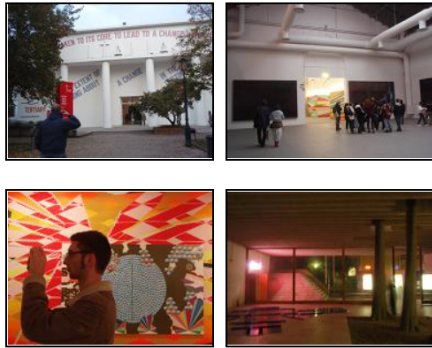


いったん 宿へ帰って 一枚着足して
温かいお茶を飲んで 再出発。

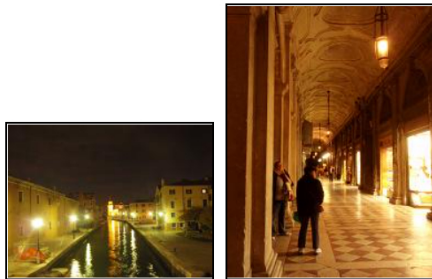
時間がもっとあれば ガラス職人たちが暮らす
ムラーノ島へ行きたかったのですが 今回は行けずじまいです。 残念。
んで、今日もピエンナーレへ 公園の方



ここは 各国のパビリオンになっています。
この公園のほうも やたら広くて 見るのが大変です。



個人的には オーストリアのパビリオンが 好きでしたが
広すぎて時間がなく ゆっくり見れなかったのが 残念です。
そして、また夜になり



夜のヴェネツィアもまた 綺麗なもんです。



宿へと戻り、
夕食へ。また2人 日本人の方が来ておりまして
合計5人で 出発です。
ちょっと迷いましたが 無事着いた時は
ただレストランに着いただけですが
思わず テンションが上がってしまって みんなうきうき





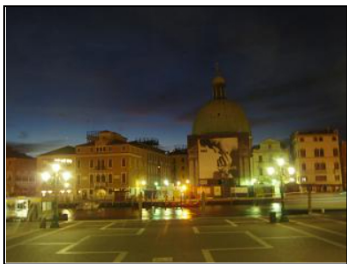
みんなで ちびちび 分けながらの
それでも、やっぱり一人じゃないご飯は ぜんぜんちやうで！
6倍はうまいな。

帰り道でも テンションは高く
行きの長い道のりも 感じず すぐに着いてしまいました。



ほんとうに 最後のヴェネツィア 楽しく過ごすことができました。
ありがとうございます。。

そして、翌日の早朝 ヴェネツィアからローマへ戻り 一泊
この日本の国旗が掲げられているアーキーズルームともお別れです。





再びローマへ



テルミニ駅では コーラZEROを無料配布していたので
ここぞとばかりに 3回もらっときまして、

んで さりげなく、この日は終わりました。。。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.12 | [ホームリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[明日はどちらだ > 2007年11月アーカイブ](#)

ヴェネツィア・ビエンナー

偶然、行った期間が 2年に一度の

ヴェネツィア・ビエンナーレ

にあたりました。 ラッキーなんで、
この ちょい前くらいの明るさまで 撮影をして 出発です。



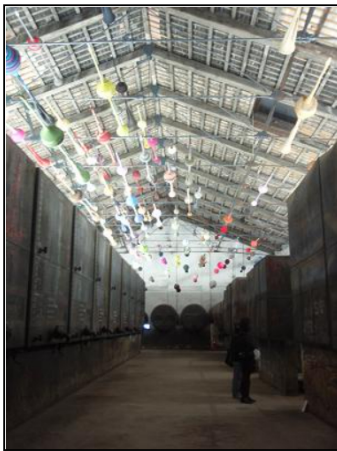
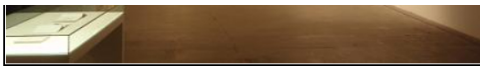
会場は街中と 造船所跡 と 公園です。

今日は造船所跡へ、行くことにします。
中はものすごく 広くて長くて、やたら楽しいです。
そして、たくさんの作品が置いてあります。

すべてを じっくり見るのでしたら
1日・2日では 到底無理でしょう。

写真も見れたし、模型 絵 映画
とりあえず、すごいたくさんありました。
久しぶりに見れて ものすごい良い気分になれて
閉館のぎりぎりまで見てしまいました。





宿へ帰ると また日本人の方が、

さすが、この宿 日本の国旗が掲げられているだけあります。
宿へ入るときは、少し恥ずかしいような気もありますが
これだけ日本語で話せれば 楽しいもんです。

女性の方は 一人旅で、こないだ
タイからイタリアに来たらしいです。
なんと、タイのコーラやカップラーメンを持っています。
このくそ寒い ヴェネツィアには たまらんものです。
かなり 暖まりました。。。
ありがとうございました。



あんまり、楽しいもんで
せっかくなので翌日夕食を食べに行くことに決定しました。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.12 | [ホームリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

明日はどっちだ > 2007年11月 アーカイブ

会いに行きます。ーアドリア海の女王ー

11月7日 早朝のローマからヴェネツィアへ移動します。
まだ、空の暗いうちに出発です。
黄色いやつに ガチャン っとも忘れずに。



ヴェネツィアまでは約5時間。
少し遅れたようですが 無事に
アドリア海の女王に 会いにこれました。

あ? 寒いな。
やっぱり北上したから あたりまえか。

しかし、この程度の考えでは 甘かった。。

歩き方に 載ってる
アーキーブルームへ泊まる予定です。
駅からは出て左へ行き 真っ直ぐです。

アーキーさんは やたら親日的で
少し日本語も話せるし いい感じの方でした。

そして、街へ出ます。

だいたい、最初は この サンマルコ広場を目指すでしょう。
しかし、地図は見たものの だいたいの方向へ 歩いて行きてまして
ただでさえ 迷いやつ、この街

たいてい、広いやすいこの街。
この街初心者の自分をはぐるぐる。と 2時間くらい。

やっとこさ、着きまして
ヴェネツィアにしては やたら広いです。
そして、鳩がやたらいます。



そして、先へ。
ここは ヴァボレット と呼ばれる 船がたくさん出る場所のようで
溜め息の橋もあります。。



迷いやすいこの街

街並みが やたら 綺麗なで
歩くのは楽しいですが
ホントに慣れと 土地勘が付かないと
いったい自分はどこを 歩いているのか 分からなくなり
行き着いた先の教会は 島の端っこでした。。





寒さのせいかな？
この街の日暮れは ローマより早いのか？
気分的には2時を過ぎたら もうイカンです。
ただでさえ、日が高く上らないし。



宿へ帰ると 日本人の方が あります。
2週間ぶりくらいに 独り言じゃない 日本語を話すことができました。
うれしいかぎりです。

しかし、彼は 疲れているらしく すぐに眠り。
もう一人の日本人の方が 帰ってくる前に 眠りにつきました・・・

うげっ。 寒み・・・・・・・・

まるで キャンプしてるかの様です。。

post by 徳田 歌太 | 日時: 2007.11.12 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ > 2007年11月 アーカイブ](#)

ローマ人

ローマの日

バチカンとかへ。

それにしても、ここは どこからが
バチカンなんだろう？
いつも いつの間にか 入っているようです。
ちょっと、ファイナルファンタジーを 思い出してしまいます。。





この日は、どうやら
初の曇りの日。
うまいこと パチカンの中に 光が入ってこないため
早々に次へ移動します。

通りすがりに 公園だと思いきや
ここも ローマの跡らしいです。
今では 見晴らしがよいので
ランニングや ぼーっとしたりするのに 適していますが
当時は たしか 馬をひいたりした 競技場だったらしいです。



そして まだ行ってない カラカラ浴場 へ
ここは、またこれが やばいデカイ です。
当時の復元絵 のようなものがありました
この中いっぱい 水？湯？ をはって泳いでる人
とかもいました。

カラカラ浴場は 駅でもらえる街の地図に載っていないので
ちよびっと、マイナーっぽく、人もまばらで
まるで、静かな遺跡のある公園のようでした。



それにしても、本当に
ローマ人には 驚きです。
当時の人々の生活、娯楽、食事などなど を
見てみたいものです。
たぶん、電気や機械はないでしょうが
あまり、現代の生活と 変わらないのでは？
とも思っていました。

そして、日も傾き
帰り道 衝撃がありました。
なんと カラス が真っ黒ではないのです！
なんでや！？
イタリアのカラスは胸が灰色です。





そして、今はすでに エジプトですが
今日 空港からの道。
この カラスも 胴が灰色でした。 なんと？

この日は 宿で無料パスタの出る日です。 最高！
おばちゃん来て 作ってくれます。
日によって たくさん食べる人の いる日は
2杯とかしか食べませんが、
この日は なぜか ぜんぜん食べる人が おらず
全部で 5杯 いただきました。

この感謝を おばちゃんに 伝えたいのですが
態度で精一杯です。
この小さい体なのに
「この子 たくさん食べるのよ。 明日にももっと
大きくなってらんじやないの？」

的に言っていました。 普通の人は2杯しか食べないので。。



そして、最後にこの宿に泊まった日に
レセプションの人に パスタマン と呼ばれました。。

post by 徳田 敬大 | 日時: 2007.11.12 | [ホームリンク](#) | [コメント\(4\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ > 2007年11月 アーカイブ](#)

07.11.05

ローマ と 昨日 と 今日 と

昨日は コロッセオ に行った。

このチケットを買うために 朝10過ぎに行ったら 1時間以上並んだ。
さすがに 1時間以上並ぶと 疲れるもんで。。



いつかの写真で 真ん中が通れた気がしたんだけど
それは さすがに ダメみたい。
この周りを 歩けるだけだった。





中には、そこで 発掘か？ そこにあったやつか？
 分からんけど、展示してあった。
 それにしても、ずっと昔に 獣とかをエレベーター式に闘技場へ上げたり
 こんな巨大なものを造れたとは、ホンとに驚きのローマ帝国。
 しかも それが この時代まで残ってるとは。。 なんじゃい？
 日本も地震とかがなかったら 今とはちょっと違った景色に
 なってたのでは？
 と、一人も思ってた。。

その後、パラチーノの丘ってのへ。
 遺跡が ごろごろ 転がってて、タイのアユタヤ とか スコータイを思い出す景色。

は！？

あの時 気づいたら 遺跡マニアになってたのに
 今回もいつの間にか 遺跡マニアになっとる。



しかし、いかなあ あっという間に 日が傾いてしまう。
 午後3時くらいには もうわりかし 影は長い。
 しかし、何てったって 入場時間にゆかってしまうから
 一日に付けて2ヶ所くらい。

これは、思ってたより 寂しいかも。。
 余裕の日程 の ローマ だった気がしたんだけど。。。

真実の口へ行くころには ちょっとだけ 辺りは 薄暗く、
 ところで、この口 みんなが触りすぎて ほっぺたが 腫れまったくなくて。
 このままじゃ 顔の原型が なくなってさつ穴になってまうんじゃあ なかろうか



んで、今日

パチカンへ だいたい 宿から まっすぐっぽいから 早足で





スタスタ



わりと 適当に 歩いても行けてしまうもんで 無事に到着。
したはいいけど すでに すんげー 並んだる。。
朝は 毎日 ミサやってるんだか 分からんけど
どうやら、今日が日曜ミサだからか？
でも、以外にすんなり。

中では、ミサをやってて どうしても眠くなってしまふ。
ちょっと 椅子に座っていると

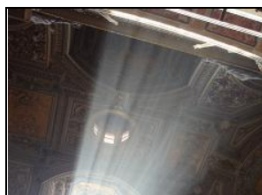
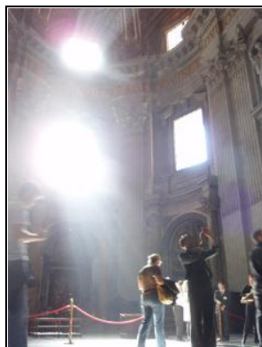


は!?



って夢の中へ 行ってた。。

中は 朝の 斜光で すごい勢いで
光が差し込んでくる。
オリンパスで撮ったら もっと すごいことん なった。。





中の彫刻とかもやばいすごい！
こんな芸術ってのかな？と、思ったり。
床もいろんな色の石で組まれてたりとさすがバチカン。
美しいなこりゃ。

んで、クーポラへ。バチカンの上へ行けるみたい。



どんどん上へ。この様子だとバチカンの屋上へ行くようです。
途中でさっきのこの上に出了ました。
下で見たときより以外に歩くところの幅があって安心。
天井まで彫刻やら絵やらとすみずみまですごい。



まだまだどんどん上へ。以外に思ったより上るみたいで
おぼちゃんとか途中でへばってました。
屋上は狭いながらもローマの街が
360度見れてすごい見晴らしが良いです。



最後に入り口から





すでに、朝来たのに 2時 とかに なっとる。
バチカン は ローマの端っこの 方で これから移動して撮影 とは
ちょっと。。。

なので、通りすがりの 初ジェラート。



なんだ？ これは！ うまい。

なぜ もっと 早く 食べなかったのでしょうか！
おいすぎて、逆に ひっくりしてしまいました。

その後、川沿いを歩き 帰路へ着く途中。

まだ、レストランのピザを食べてなかった。
なぜなら やたらと一人じゃあ 入りにくいから。。
ありゃ、きついよ。
普通 誰かと行くとこじゃん。
でも、そんなこと気にしてちゃ 行けないんで
ここは 勇気を出して行くことにします。



ピッツァ・マルガリータ を オーダー
本来は 楽しんで食べるものだ と 思いますが
何でって 一人はつらいよ。
他のお客さんたちは みんな ゆっくり 喋りながら 食べています。 楽しんで。

が、びびったため がっついて すぐに 出て行ってしまった。

完全に負けだな。。



そんな、帰り道 本物がいました。 今でも実在するんですね





宿で洗濯していると無性にジェラートが食べたくって
これは完全にとりこに なってしまいました。
まるで、
北京で北京ダックを食べた後
またすぐに北京ダックが食べたくなったような 感じです。

歩き方に 載ってた 老舗のジェラート屋さんへ



イタリアのジェラートは たいたい カップかコーンに数種類の
ジェラートを選んで乗せてもらい、その上にホイップをかけるのが 常 らしいです。

定員さんは
「NAKATA！ NAKAMURA！」 と さすがイタリア



これまた、
一人で食べている 寂しさも忘れるほど
おいしすぎて ひっくり。 あっという間に 無くなってしまいました。。

こりゃ、明日も ジェラート食べるわな。。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.05 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ > 2007年11月 アーカイブ](#)

07.11.03

ローマ

フォンジョールノ イタリアー ！



今日は、寝不足だし 初日ということだけあって 街を見ることにします。

適当に 歩きますと
サンタマリア マジオーレ 教会です
朝ということもあって ミサをしておりました。
眠い 疲れた 頭には 心地よいですな



すごいです！ フランスみたいです。
フランスの パリ より は 小さいと思いますが
いたる所に 遺跡 遺跡。
家も、道も 街自体が 綺麗です。
おもわず わくわく してしまいました。



そして、何より 半端ない旅行者の数。
アンコールワットの比じゃないと 思います。
イタリアは 観光国 らしいのですが 思っていた以上に います。
今までで 一番 ですなこりゃ。

この階段なんて 登れりゃ しないし。むしろ
しゃがむために ある様なもんじゃない。

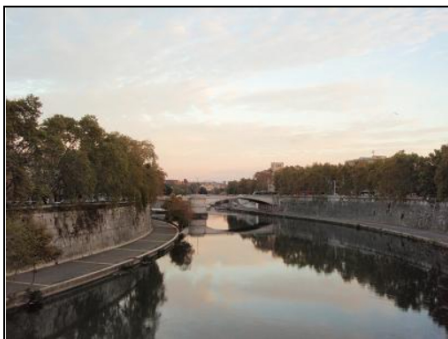




んで、パチカンへ
ここの混み具合も ハンパない！
自由の女神の入るまで並ぶ列の長さが 自由の女神の比じゃないし。



歩いて いますと いたるところに
ピザの店。しかし、何か入る気がませんでした。
が、いい香り。店の おっちゃんもいい感じの人です。
こういう場合は 食べてしまいます。
出来立てを食べれたら この 匂いは おいしいだろうと 思いました。
奥で作っていたし、地元の人も 結構 来てるっぽい風です。
やっぱり、やりたいのは
一人で あの 丸いのを 全部ほおぼること。
しかし、一人でレストランは 入りにくいにも ほどが あります。
ちなみにこれは、四角いピザ。に 何かもう一個。



日も暮れてくるころ 空には 何やら 塊が やたら 飛んでいます。



そして、今いる ネットカフェ



この国も 移民の人たちや 出稼ぎの人たちが多いのか
小さい店や屋台,手売りしてる人たちは イタリア系じゃない人たちがたくさんです。

と、思い 書いている 11月2日 22:15 。。。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.03 | [ホームリンク](#) | [コメント\(2\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2007年11月 アーカイブ

NY から ROME

11月1日 移動日 です 。

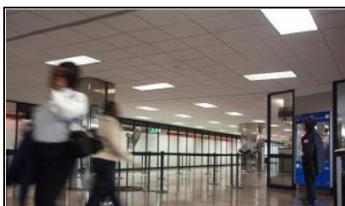
ここが インターナショナル スチューデントセンター
中は 暗くて 日本人はもちろん アジア人は 自分一人だけでしょう。
でも、シャワー室に 日本のシャンプーが置いてあったから 勝手に使っときました。
ありがたえ。

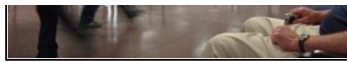


JFK空港のターミナル3 から 移動。

この空港は がかいと 聞いていたので 綺麗かと 思いきや。
デルタエアラインは 古びています。

なぜ？





そして、出発するちょい前 隣の人に窓側の席をかわってもらいました。
飛行機は窓側に限ります。
景色は見えるし 夕日やらは やたら きれいで眩しいし。



そして、今回2カ国目のイタリアに 到着です。
急にアメリカとは 雰囲気が 変わった気がします。

FCC空港 から テルミニ駅へ
イタリアは バスと 電車は この 黄色いやつに チケットを入れ

ガチャン っと やるみたいです。
他の国の 乗り物を 乗るのは 最初はちょいと勇気がいります。



30分後 どうとう ローマ は テルミニ駅 到着 です。
まだ 朝の9時くらい。



駅から 歩いて 7分くらい いい立地の宿に 泊まっています。
さらに、すごいことに！ 安ホステルなのに
朝、夕の 無料の食事つき です！ 最高！
さっき 2杯 何やらのバスタをいただきました。
同室の人が 2人 女性で、
この部屋は 女性限定 じゃないの？ と、
違うのに 言われる 始末ですが それは、それで。。





カテゴリ:
post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.03 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

明日はどっちだ > 2007年11月アーカイブ

ハロウィンの日

この日は ハッピーハロウィン!

しかし、やっぱり 行くのは Statue of Liberty

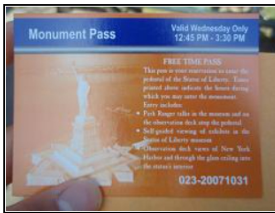
なんか 自由の女神 って言いづらくなってしまった。

いつものように ここで チケットを 購入
が、今日は NYのHIS の人の助けをかりて ネット予約したので
WILL CALL のとこへ 行き 予約チケットをもらいました。



んだから、今回は自由の女神の中へ行きます。
どんなん なんてんだろ。 と 軽い期待。
しかし、気分は鎌倉の穴仏とほぼ同じです。

予約の人は ↓ この チケットがもらえて 時間制です。
これがないと 中へ入れません。



ほんで、来たはいいけど もう 3回目。
タイの ワットプラケオ も4回行ったけど
あんまし 行きすぎると じゃっかん 飽きってもんが どうしても 生まれてしまっ て
いかな。

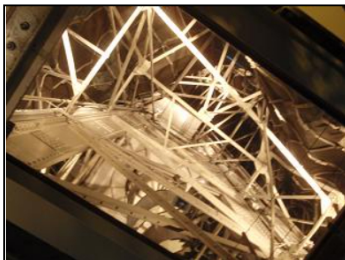
この リバティ島へは ボディーチェックをして 入るのですが
またもや 自由の女神の 中へ入るときも ボディーチェックです。

ブシュッ! ブシュッ! って 何やら風もあてられました

冠の所へ行くことが目的だったのですが、911後 冠へは行けなくなったそうです
それは かなり残念なこと、この 911 メガ!!! と、つくづく思いました。
しかし、昔は 手のトーチの所まで登れたようで
これは第一次世界大戦かな? で、行けなくなりました。
正直、あんなどこに行ったら 怖くて しょうがないと 思います。。。



もう行けなくなった 階段



こしへ、また、いつか、行けるよつには希望を、願っています。
でか、行ってみたいし。

中の自由の女神博物館



そして、今行ける 限界のところ たった 足元です。
そこまで 一応 登りましたが、何だか、下とあまり変わらず
ちょっと 景色が良くなっただけです。。。



そんなこんなで、リバティ島を後にし、マンハッタンへ 帰るとします。
もう、ニュージャージー行きは、絶対に船には乗りません！
んで、途中でエリス島に寄るのですが、さながら、影が、移民船のようです。
船を待ってる人たちにも、そんな、においが、しました。



そして、ワールドトレードセンターへ
この、目の前に建つ教会は、911の、記念館のようになっています。
日本からも送られてきた、千羽鶴やらが、置いてありました。



そして、街を、北上し、宿へ、帰ります。
今日はハロウィンだけあって、ほんとに、たくさんの、人が仮装しています。
子供から、大人まで。
日本で、言えば、コスプレ、ですな、ありゃ。
犬夜叉、とか、いましたし。

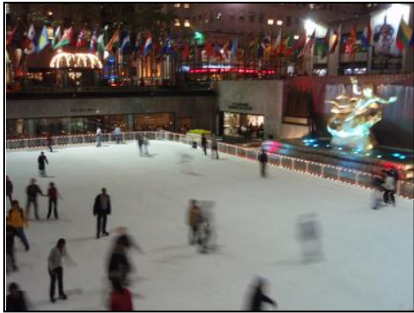




もっと、北上し いつもの ように ロックフェラーセンターに 寄ります。



あ~~~~~！
スケートとかうらやましいし、ロックフェラーセンターの上になって登りてーなー！
と、思いつつ この 平和な 空気で ちょっくら一休み。。



さて、今日は ハロウィンでした。
店に寄って 買い物しようとする と 子供たちが 親 同伴で 来ました。
例の お菓子を もらうやつです。
なんだか 店の人は かなり 渋い顔を しております。
たぶん今日という日に 子供たちが たくさん来ているからでしょう。

「もう NO キャンディー だよ。」 って言っていました。
そんな、場面を何回か見ました。
ちなみに 子供たちの 袋の中は お菓子で ちょっと 重そうです。
逆に 子供たちは
ただで お菓子をもらえる この日に かなり 気合を入れてるんだと 思いました。

カテゴリ:

post by 徳田 敬太 | 日時: 2007.11.03 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#)